**寺山修司の身心変容―不完全な死体への質問状**

　　辻　信行

**※注１**

この発表は、次の二つの大きな質問に答えることを目的とする

　　①寺山修司（1935～1983）とその作品における「身心変容」とは何か？

②身心変容技法研究会で発表すると、どのような「身心変容」が起こるのか？

→①は、レジュメに見せかけたこの質問状に沿って考えてゆく

→②は、発表前後に辻の体温を測定し、その変化を観察することで明らかにする

発表前の体温　　　　 ℃

**※注２**

　以下の質問は、「不完全な死体」である寺山修司に向けられているが、

同じく「不完全な死体」である参加者全員と発表者本人にも向けられている

**質問１　寺山修司ってなんですか？**

1）考えられる可能性

→人名、職業名、現象名、作品名、食堂名…

2）肩書き

→俳人、歌人、詩人、作詞家、演出家、脚本家、映画監督、

小説家、随筆家、評論家、俳優、写真家…

3）作品の魅力

→「懐かしさ」と「幻想性」（三浦雅士『寺山修司―鏡のなかの言葉』）

→それに加えて「幅の広さ」と「変容性」

4）寺山の創作史

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 西暦（年） | 特徴 | 備考 |
| Ⅰ | 1956～66 | 詩的作品 | 短詩型文学から出発、シナリオ作家へ |
| Ⅱ | 1967～69 | 見世物的作品 | 演劇実験室・天井桟敷を結成 |
| Ⅲ | 1970～73 | 実験的作品 | 実験演劇（市街劇・書簡劇・密室劇）を展開 |
| Ⅳ | 1974～83 | 幻想的作品 | 長編映画の制作、マルチな芸術家として活躍 |

5）各時代の代表作

Ⅰ　処女戯曲『忘れた領分』、第一作品集『われに五月を』、第一歌集『空には本』、

　　ラジオドラマ『大人狩り』『恐山』『山姥』『犬神の女』『コメット・イケヤ』、

　　評論『現代の青春論』（のちに改題し『家出のすすめ』）、小説『あゝ、荒野』

Ⅱ　演劇『青森県のせむし男』『大山デブコの犯罪』『毛皮のマリー』『花札傳綺』

『新宿版千一夜物語』『星の王子様』『時代はサーカスの象にのって』

　　評論『書を捨てよ、街へ出よう』（後に演劇化、映画化）

Ⅲ　市街劇『人力飛行機ソロモン』、実験映画『トマトケチャップ皇帝』『ローラ』、野外劇『走れメロス』、密室劇『阿片戦争』、街頭劇『地球空洞説』、演劇『盲人書簡』

Ⅳ　長編映画『田園に死す』『上海異人娼館　チャイナドール』『さらば箱舟』、中編映画『草迷宮』、市街劇『ノック』、演劇『疫病流行記』『中国の不思議な役人』『奴婢訓』

『身毒丸』『観客席』『百年の孤独』『レミング―壁抜け男』

6）寺山修司研究の現在

→①回想記　②評伝　③概説書　④研究書　の特色

→国際寺山修司学会創設による画期、最も進んでいる研究領域は短詩型文学

ex)小菅麻起子『初期寺山修司研究―「チェホフ祭」から『空には本』』

**質問２　質問は「あるもの」ですか、「なるもの」ですか？**

1）質問に「なる」

「大きくなったら、質問になりたいのです！」（『地獄篇』）

2）質問は答えより大きい

飼っている二匹のカメの名前は「質問」と「答え」。体がより大きいのは「質問」

（『月蝕機関説』）

3）質問の実践

テレビ・ドキュメンタリー『あなたは……』（1960）における質問

　　今一番ほしいものは何ですか？

あなたは月にいくらあったら足りると思いますか？

もしあなたが総理大臣になったら、まず何をしますか？

あなたの友達の名前を言って下さい。

天皇陛下はお好きですか？

戦争の日を思い出すことがありますか？

（ある場合）何をですか？

ベトナム戦争にあなたは責任があると思いますか？

（ある場合）では、その解決のためにあなたは何をしていますか？

昨日のいまごろ、あなたは何をしていましたか？

それはとても充実した時間でしたか？

人に愛されていると感じたことがありますか？

祖国のために戦うことができますか？

命をかけてでもですか？

あなたにとって、幸福とは何ですか？

では今、幸福ですか？

何歳まで生きたいですか？

東京はすみよいところですか？

空がこんなに汚れていてもですか？

最後にききますが、あなたは一体だれですか？

（シュミット村木眞寿美『五月の寺山修司』）

**質問３　両親からどんな影響を受けましたか？**

1）「意識高い系」の父・寺山八郎

→祖先は鹿児島の島津藩

→東奥義塾高校に在学中、弁論部に所属（「日支親善を論ず」「現代社会と改造」）

→文筆活動も行う（「人生と宗教」）

→その後、警察官として勤務し、第二次世界大戦で出兵先のインドネシア・セレベス島でアメーバ赤痢により戦病死

2）「私生児」の母・寺山はつ

→坂本家の女中が孕んだ私生児として、漁師の家で育てられる

→八郎と結婚して修司と戦火をくぐり、敗戦後は三沢基地で働く。そして北九州へ

→修司を過剰に愛しながら一時生き別れた

→修司には「母殺し」の作品が多い

・母逝く　「東奥日報」掲載　（青森高校１年時）

母もつひに土となりたる丘の墓去りがたくして木の実を拾ふ

埋め終へて人立ち去りし丘の墓にはかに雨のあらく降りくる

音たてて墓穴深く母のかんおろされしとき母覚めずや

夢にさめてまだ明けきらぬ病室に一番列車行くを聞き居り

・歌集『田園に死す』

亡き母の真赤な櫛を埋めにゆく恐山には風吹くばかり

亡き母の位牌の裏のわが指紋さみしくほぐれゆく夜ならむ

子守唄義歯もて唄ひくれし母死して炉辺に義歯をのこせり

3）五木寛之との比較

→「「本工の論理」としての近代市民社会」

**質問４　日本の何を描きたかったのですか？**

1）新宿の恐山

→東京に憧れ続けた青森の少年時代

→はじめて恐山にのぼったのは26歳で一時帰郷したとき

→映画『田園に死す』の最後のセリフ、「本籍地、東京都新宿区新宿字恐山」とは？

わが息もてどこまで花粉飛ばすとも青森県を超ゆる由なし（歌集『田園に死す』）

2）フォークロア三部作

→ラジオドラマ「日本人三部作（フォークロア三部作）」

→『恐山』『犬神の女』『山姥』の特徴、「恐山＝イタコ」のイメージをつくった

3）日本呪術紀行

→紀行文『花嫁化鳥：日本呪術紀行』の内容は、風葬大神島／比婆山伝綺／闘犬賎者考／浅草放浪記／裸まつり男歌／馬染かつら／花嫁化鳥／くじら霊異記／きりすと和讃／

筑豊むらさき小唄

→民俗学、土着と土離、伝統芸能へのアプローチ

4）北海道と沖縄、奄美

→「南なんかへ行くなよ」の意味

→今村昌平監督の『神々の深き欲望』（原作は喜界島で育った小説家・安達征一郎の短編小説）を観て沸き上がった「古事記」への想い

→最後の長編映画『さらば箱舟』のロケ地は北海道から沖縄へ変更

**質問５　アジアのどこに憧れましたか？**

1）チベット

→寺山修司は「チベットのヤクの干し肉」（中沢新一）

→チベット仏教の夢見の技法への関心

2）中国

→父が消息を絶った満州

→理想郷としての1920年代の上海

ex)映画『上海異人娼館』、舞台『盲人書簡　上海編』『怪人フー・マンチュー』

3）韓国・朝鮮

①短歌

半島語すこし吃れる君のため焙られながら反りゆく鯵よ

作文に「父を還せ」と綴りたる鮮人の子は馬鈴薯が好き　　　　　　　（「チェホフ祭」）

地下室の樽に煙草をこすり消し祖国の歌も信じがたかり

地下室にころげて芽ぐむ馬鈴薯と韓人の同志をそれきり訪わず

わが窓にかならず断崖さむく青し故郷喪失しつつ叫べず

外套の酔いて革命誓いてし人の名知らず海霧ふかし　　　　　　　　　　（『空には本』）

さらば夏の光よ、祖国朝鮮よ、屋根にのぼりても海みえず

砂に書きし朝鮮哀歌春の波が消し終わるまでみつめていたり　　　　　　　（『血と麦』）

②長編叙事詩『李庚順』

→在日朝鮮人で娼婦の母を持つ主人公の青年、李庚順が主人公。李は青森の映画館で映写技師見習いを務めている。母を殺害して東京へ行く空想に耽る

③『ヘアー』

→原作はブロードウェーの反戦ロックミュージカル。原作で差別に抗う黒人を、朝鮮人に変換した。脚本の過激さに恐れをなした松竹が寺山を降板させ、上演は実現せず

**質問６　演劇とはなんですか？**

1) 出会いの組織化

→劇とは出会いの偶然性を想像力によって組織してゆくこと（『死者の書』）

→出会いとは、俳優と役中人物との出会い、俳優と観客との出会い、観客と役中人物との出会い、観客と観客との出会い

2) それぞれの出会い

①俳優と役中人物の出会い：『星の王子様』『巨人対ヤクルト』

②俳優と観客の出会い（によって寺山演劇は成り立つ）：『阿片戦争』

③俳優と役中人物との出会い：従来の演劇

④観客と観客の出会い：『観客席』

3) 劇場とは

→施設や建物のことではなく、劇的出会いが生成されるための「場」のイデオロギー

（『迷路と死海』）

→街全体を劇場とした市街劇『ノック』、

4）演劇実験室「天井桟敷」の試み

→俳優のいない演劇、誰もが俳優である演劇、観客のいない演劇、相互に観客になり代わる演劇、市街劇、戸別訪問劇、書簡演劇、密室劇、電話演劇…

**質問７　赤とはどんな色ですか？**

1）色彩心理学における「赤」

→本来、赤は「情熱」を表すが、寺山作品における赤は「死」を表す。

寺山にとっては「死」＝「情熱」？（群千寿子「寺山修司の色彩世界：短歌からの分析」）

売られたる夜の冬田へ一人来て埋めゆく母の真っ赤な櫛を

挽肉器にずたずた挽きし花カンナの赤のしたたる　わが誕生日（『田園に死す』）

2) 少年時代の詩にみる「赤」

→死を孕む「生」と「性」

「紅扇」（1952年4月8日）

　　　ひとつの　白い国ざかいを　越えて

ふるさとは　海が見えます

幌馬車で　ひらいた　あなたの扇が

真っ赤な　蛾を生んだ。　（『秋たちぬ』）

3) 映画『草迷宮』

**質問８　ライバルは誰ですか？**

1）寺山に影響を与えた人たち

ロートレアモン　オスヴァルト・シュペングラー　石川啄木　折口信夫　江戸川乱歩　宮沢賢治　アントナン・アルトー ネルソン・オルグレン　太宰治　塚本邦雄　中井英夫

2）寺山と影響を与え合った人たち

三島由紀夫　土方巽　羽仁進　黛俊郎　武満徹　篠田正浩　山口昌男　谷川俊太郎

石原慎太郎　山田太一　美輪明宏　九條今日子　横尾忠則　唐十郎　ル・クレジオ

3）寺山が影響を与えた人たち

福島泰樹　鎌田東二　野田秀樹　桃山邑　田口ランディ　園子温　穂村弘　坂口恭平

**質問９　変身とはなんですか？**

1）身体への変身

→肉体は劇を内蔵、身体は記号的（俳優の肉体を身体に改造）

2）機械への変身

→『奴婢訓』における機械

→身体加工や奇形、侏儒

3）動物への変身

→ネズミ、山姥、犬、さかな

　　「さかな」（1959年）

つきよのうみに　　いちまいの　てがみをながして　やりました

いつか　どこかで　ともだちのいない　こどもが　よむように

つきのひかりに　てらされて　てがみはあおく　なるでしょう

ひとがさかなと　よぶものは　みんな　だれかの　てがみです

4）裸への変身

→最大の変身は裸になること

→銭湯で見かける刺青

→『寺山修司&谷川俊太郎ビデオ・レター』における裸

**質問１０　完全な死体になれたと思いますか？**

1）完全な死体になれた

→朝日新聞1982年9月1日付に掲載されたバージョン

「懐かしのわが家」

昭和十年十二月十日に

ぼくは不完全な死体として生まれ

何十年かかゝって

完全な死体となるのである

そのときが来たら

ぼくは思いあたるだろう

青森市浦町字橋本の

小さな陽あたりのいゝ家の庭で

外に向って育ちすぎた桜の木が

内部から成長をはじめるときが来たことを

子供の頃、ぼくは

汽車の口真似が上手かった

ぼくは

世界の涯てが

自分自身のなかにしかないことを

知っていたのだ

2）完全な死体になれなかった

→1986年5月4日刊行の『寺山修司全詩歌句』に掲載されたバージョン

ぼくは不完全な死体として生まれ

何十年かかけて

完全な死体になるのである

そのときには

できるだけ新しい靴下をはいていることにしよう

零を発見した

古代インドのことでも思いうかべて

「完全な」ものなど存在しないのさ

発表後の体温　　　　 ℃